

第1学年 算数科

まつかしりつまつえしょうがっこう
松阪市立松江小学校



【学習目標】

- 数の概念とその表し方や計算の意味を理解し、量、図形、数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにする。
- ものの数に着目し、具体物や図などを使って数の数え方や計算の仕方を考える力を養う。ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考える力を養う。身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力を養う。データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力を養う。
- 数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「あたらしいさんすう①」	(東京書籍)
	「あたらしいさんすう②」	(東京書籍)
副教材	けいさんドリル	
	けいさんドリルノー	
	かずみちゃん	(ヤマガミ共有社)

持ち物		
教科書	ノート	計算ドリル
計算ドリルノート	算数セット	

【学習の約束】

- 自分の考えを進んで発表しましょう。
- 先生や友だちの話をしっかり聴きましょう。
- 字を丁寧に書きましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【^{がくしゅうないよう}学習内容】

^{ぜんき} 前期	^{こうき} 後期
1. なかまづくりとかず 2. なんばんめ 3. あわせていくつ ふえるといくつ 4. のこりはいくつ ちがいはいくつ 5. どちらがながい 6. わかりやすくせいりしよう 7. 10よりおおきいかず 8. なんじなんじはん 9. 3つのかずのけいさん 10. どちらがおおい	11. たしざん 12. かたちあそび 13. ひきざん 14. おおきいかず 15. どちらがひろい 16. なんじなんぶん 17. たしざんとひきざん 18. かたちづくり

【^{ひょうか かんてん ばめん ほうほう}評価の観点および場面・方法】

^{ひょうか かんてん} 評価の観点			^{ひょうか ばめん ほうほう} 評価の場面・方法
^{ちしき} 知識・ ^{ぎのう} 技能	わかる・ できる	^{すうりょう ずけい きそてき ちしき ぎのう りかい み} 数・量・図形の基礎的な知識・技能を理解し、身につける。	単元テスト ^{じゅぎょう ようす はつげん はつびよう} 授業の様子 発言・発表
^{はんしこう} 判断・思考・ ^{ひょうげん} 表現	かんがえる ひょうげんする	^{すじみち かんが ひょうげん} 筋道をたてて考え、表現する。	^{じゅぎょう ようす はつげん はつびよう たんげん} 授業の様子 発言・発表 単元テスト ノート ^{かえ} ふり返し
取り 組む 態度 と ^{しゅたいてき} 主体的に 学習に	たいど	^{しゅたいてき さんすう がくしゅう} 主体的に算数の学習にとりくむ。 ・ ^{すうりょう ずけい した たの すす まな} 数量や図形に親しみ、楽しみながら進んで学ぼうとしている。 ・ ^{がくしゅう けいけん い かんが} 学習したことや経験を活かして考えようとしている。	^{じゅぎょう ようす はつげん はつびよう} 授業の様子 発言・発表 ノート ^{かえ} ふり返し